

□最近の活動状況

【定期講演会】

— 9月3日(木) ザ・セレクトン福島 —

(一財)とうほう地域総合研究所、(公財)福島県産業振興センターとの共催、(株)東邦銀行の協賛による定期講演会を開催し、会員の方々をはじめ約330名の方が聴講しました。

東京大学大学院経済学研究科教授の伊藤元重先生を講師にお招きし「日本経済を創造的に破壊せよ！」～衰退と再生を分かちこれから10年の企業戦略～というテーマでお話を頂戴しました。



講演会風景



講師 伊藤元重 氏

経営環境の変化について「少子高齢化・グローバル化・情報化」の3つを掲げ、「人手不足に適切に対応することが最大の経営課題であり、これをクリアすれば成長できる」とお話されました。

また、これらの変化に対応するためのキーワードとして「選択と集中」「差別化」を挙げ、自社の強みに特化することの重要性について、地域企業の成功事例を踏まえて分かりやすくご説明いただきました。

【地域経済に関する懇談会】

— 9月6日(日) コラッセふくしま —

内閣府の「地域経済に関する懇談会」が福島市の「コラッセふくしま」にて開催され、西村康稔・内閣府副大臣(経済財政政策担当)と県内経済団体の代表者が「地域における最近の経済情勢」をテーマに意見交換を行いました。

この会は、地域の経済や産業の実情、特に中小企業の業況を把握し、今後の経済財政政策に生かすために、平成25年4月から全国各地で開催されています。

懇談会で出された規制緩和や税制優遇を認める復興経済特区の指定などの要望を受けて、西村副大臣は「既



懇談会風景

存の政策との兼ね合いを考えながら政府として対応していきたい」と述べました。

当会からは、浅倉代表幹事と森川副代表幹事が出席しました。

【平成27年度通常総会】

—7月21日(火) ザ・セレクトン福島—

平成27年度通常総会が行われ、平成26年度の事業報告、決算報告に続き今年度の事業計画と予算の議案を審議し、いずれも原案通り可決しました。

総会終了後、鈴木和明・福島地方気象台長を講師にお招きし「福島における大雨災害と火山の状況」と題し講演会を開催しました。

近年の気象と災害について事例を挙げて分かりやすくご説明下さいました。



総会風景



講師 鈴木台長

大雨災害から身を守るためには「日ごろから災害に備えハザードマップを活用し避難経路を確認しておくことと、最新の気象情報をチェックし、危険を感じたら速やかに避難することが重要だ」とお話下さいました。

最後に「災害は『まさか』ではなく『いつか』起こるものと認識し『自分は大丈夫だ』と思わないという心構えが大切だ」とアドバイス下さいました。

その後、会員懇親会を開き、初参加の会員あいさつが行われ、和やかな雰囲気の中親睦を深めることができました。

【第39回経済同友会東北ブロック会議】

—7月23日(木) 青森市—

東北6県と新潟県の経済同友会会員による東北ブロック会議が、青森市の「ホテル青森」にて開催され、当会からは浅倉代表幹事、渡部代表幹事、阿部代表幹事を始め7名が出席しました。

今年は「インバウンドや国内旅行での道南を含めた広域観光連携」をテーマに、来年3月に迫った北海道新幹線開業を見据えた道南地域と東北の連携について基調講演・パネルディスカッションが行われました。

最後に、仙台経済同友会の大山健太郎代表幹事から東北ブロック広域観光分科会の設置が提案され、青森経済同友会の杉本康雄代表幹事が賛意を表明しました。今後は、仙台経済同友会に事務局を置き、各地経済同友会から推薦された委員とワーキング・グループ



会場風景

メンバーで構成される分科会を設置し、10月20日に第1回の会合が合同で開催されます。

【経済同友会夏季セミナー】

—7月16日(木)～17日(金) ホテルハマツ—

経済同友会の夏季セミナーが郡山市の「ホテルハマツ」にて開催され、被災地再生を地域創生のモデルとする「東北アピール2015」が採択されました。

二日目の第5セッションでは、被災3県の経済同友会代表幹事が「復興に向けた課題」をテーマに今後の展望を含め報告をしました。

当会からは阿部代表幹事が出席し、課題として「帰還に向けたインフラ整備」を挙げました。また、風評被害の現状と払拭への支援についても説明しました。



阿部代表幹事

□事務局だより

平成27年6月～9月に入会・変更のありました会員を紹介します。(敬称略)

会員交代		平成27年6月交代 もりや みつお 守谷 光雄 福島商事(株) 代表取締役社長		平成27年6月交代 はんの しゅういち 半野 秀一 (株)ラジオ福島 代表取締役社長
		平成27年6月交代 つちだ あつし 土田 淳 東邦信用保証(株) 代表取締役社長		平成27年6月交代 はやし りゅうじゆ 林 隆壽 東北電力(株)福島支店 執行役員福島支店長
		平成27年6月交代 さかじ まさゆき 阪路 雅之 (株)東邦銀行 専務取締役		平成27年6月交代 たけうち せいじ 竹内 誠司 (株)東邦銀行 専務取締役

引続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。(平成27年9月24日現在 会員数77名)

【福島経済同友会ホームページ開設のお知らせ】

福島経済同友会のホームページを平成27年7月1日より公開しています。

当会の活動状況や今後の予定などいち早く掲載していますので、ぜひご覧ください。

URL : <http://www.fukushima-doyukai.jp/>

編集日誌

◇総会後の講演会で、鈴木台長が「近年、夏休み期間中の天気について小学生から問い合わせの電話が減ったのは、ホームページ上で詳細に公表しているため」とお話していました。

◇福島駅前の温度計が40度を超えた今年の夏。気象庁のホームページから福島市の気温を調べてみると、最高気温は7月14日の39.0℃で観測史上2番目の暑さでした。8月5日には38.9℃を記録するなど35℃以上の猛暑日が16日もありました。一転、9月に入ると雨の日が続き、あの暑さが遠い昔のここのように秋晴れが待ち遠しいです。(今野)

□会員企業紹介 【第8回 株式会社日進堂印刷所】

今回の企業紹介は、7月に全日本印刷工業組合連合会(以下、全印工連)が主催する「CSR認定制度」において東北で唯一「ツースター」を取得しました、株式会社日進堂印刷所の佐久間社長にお話を伺いました。

○社内教育の一環として

2013年に全印工連のCSR認定制度が開始され、その時にワンスターの認定を受けました。今回、更新の時期を迎え、ツースターの認証を受けられる資格がありましたので挑戦しました。

当社では、以前から資格取得に力を入れており、ISO9001やISO14001を東北の印刷業界において最速で取得しています。

ISO資格取得のきっかけは、社内の立て直しをしたと思ったことです。優秀な社員が揃っていましたが、筋が一本通っていないと感じ、社内体制の整備の意味も込めて始めました。

ISOなどの資格を取得する際はコンサルタント会社に依頼することが多いと思いますが、各部署から担当者を集めプロジェクトチームを作り、全てが手作りでした。この甲斐もあり、社員はものすごく成長することができました。ISOの他に、プライバシーマークの取得やゼロエミッションにも取り組みました。

これらの品質・個人情報・安全衛生・環境などのマネジメントシステムがそれぞれ独立していたため、横串を通すという意味でCSR認定を受けたことは大変意義がありました。また、今回のツースター受賞は今までの取り組みが認められ社員全員の励みになったことは確かです。

○機械にはできないことができる人

昔は職人がいなければ印刷は不可能でしたが、現在ではコンピューターの進歩により印刷機械さえあれば素人でも刷ることができる時代です。機械はお金で買うことができます。品質も8割程度まで買える時代になりましたが、最後の2割は「人」です。機械の限界を越えたときに「できる」と言える「前向きな人」を育てることに重点をおいています。「人」を育てていくことが将来的には会社の力になると思っています。



佐久間信幸 代表取締役社長

○ダイバーシティマネジメント

当社オリジナルの考え方ですが、「相手を認め、全てが個性とプラスにとらえる」よう社内で進めており「ダイバーシティマネジメント」と呼んでいます。「女性・お年寄りにはできない」と決めつけず、「女性だから、お年寄りだから気が付くことがある」という視点を大切にしています。

近年、女性の活躍が期待されています。女性が社内で活躍するためには、やはり女性の意見を集約することが大切と考え「女性のイチオシ委員会」を立ち上げました。この委員会で作成した「働く女子の応援手引き」は、ライフステージに合わせた手続きや利用できる制度をコンパクトにまとめたガイドブックです。先輩ママのアドバイスもあり大変好評です。これからも仕事と家庭・子育ての両立支援を継続し、女性が働きやすく活躍できる企業でありたいと思っています。

今年10月で創業70周年を迎えます。社員一人一人の個性を活かし、次の10年へ向けて行動する会社へと変化していきたいと考えています。



住 所	〒960-2194 福島市庄野字柿場1-1
設 立	1945年10月
従業員数	180名
T E L	024-594-2211
U R L	http://www.nisshindo.co.jp